

漂流ブイで可視化される北太平洋移行領域の亜熱帯水輸送経路

Subtropical seawater transport pathway of the North Pacific Transition Domain observed with drifting buoys

*西川 はつみ¹、三寺 史夫¹、奥西 武²、伊藤 進一³、和川 拓⁴、長谷川 大介²、美山 透⁵、金子 仁²

*Hatsumi Nishikawa¹, Humio Mitsudera¹, Takeshi Okunishi², Shin-ichi Ito³, Taku Wagawa⁴, Daisuke Hasegawa², Toru Miyama⁵, Hitoshi Kaneko²

1. 北海道大学 低温科学研究所、2. 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北水産研究所、3. 東京大学大気海洋研究所、4. 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所、5. 独立行政法人海洋研究開発機構

1. Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University, 2. Tohoku National Fisheries Research Institute, Japan Fisheries Research and Education Agency, 3. Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo, 4. Japan Sea National Fisheries Research Institute, Japan Fisheries Research and Education Agency, 5. Agency for Marine-Earth Science and Technology

北太平洋移行領域は亜熱帯と亜寒帯の海水交換が行われ、海洋学的・気象学的・生物学的に非常に重要な海域である。2015年に行われた漂流ブイ観測及び粒子追跡モデルの解析結果から、移行領域の流動構造や亜熱帯から亜寒帯への海水の主な輸送経路が可視化され、低い海底地形がその経路決定に寄与していることを示唆した。2017年に新たに行った漂流ブイ観測でも、低い海底地形の重要性が示唆された。低い海底地形上に形成される順圧流が、北太平洋移行領域の表層の流動場に支配的であることが示唆された。

キーワード：北太平洋移行領域、海底地形、海面水温

Keywords: the North Pacific Transition Domain, bottom topography, Sea Surface Temperature